

<p>共同生活援助 港区立障害者グループホーム南青山 地域連携推進会議（令和7年度 第1回）</p>	<p>日付：令和7年7月9日</p>
<p>＜委員＞合計10名  港区立障害者グループホーム南青山 施設長  （社会福祉法人 大三島育徳会） 橋本 睦子氏  港区保健福祉支援部障害者福祉課長 宮本 裕介氏  利用者代表 1名  利用者家族代表 1名  青山二丁目町会 村田 利衛氏、稲垣 行一郎氏、今泉 善雄氏  港区民生委員・児童委員赤坂青山地区 齋藤 美加代氏  港区立障害者グループホーム芝浦管理者 大谷内 望氏  アプローズ House 南麻布 管理者 西原 由紀氏    ほか、オブザーバー2名 及び 事務局職員2名</p>	<p>会場：  青山ふれ愛テラス  青山区民協働スペース  時間：  午後3時30分 開始  午後5時00分 終了</p>
<p>＜議題＞</p> <p>【第一部】施設見学（午後3時30分から午後4時00分まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望した3名の委員が参加した。</li> <li>・見学者した委員からは、「個の時間を大切にできる居室の作りになっている。」「利用者と職員のやり取りがとても明るくて、素敵な環境である。」といった意見が寄せられた。</li> </ul> <p>【第二部】地域連携推進会議（午後4時00分から午後5時00分まで）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 会長挨拶  港区立障害者グループホーム南青山施設長の橋本氏から、冒頭のあいさつを行った。  委員の互選により、港区保健福祉支援部障害者福祉課長の宮本氏が、副会長に選出された。</li> <li>2 委員の自己紹介  各委員から、順次あいさつを行った。</li> <li>3 地域連携会議の概要説明  事務局から、厚生労働省の地域連携推進会議の手引きを基に、会議の目的や委員の役割を説明した。</li> <li>4 施設概要説明（施設紹介、運営状況の説明など）  橋本会長から、施設概要資料を基に、施設の運営目的、施設の行事、職員の概要、利用者の概要、利用者の生活スケジュール、ヒヤリハット事例報告などを説明した。</li> <li>5 意見交換  （今泉委員）  ・21時以降の夜間にガードマンしかいないという説明でしたが、実際にはどのような状況なのでしょう。  （橋本会長）  ・普段は21時で消灯し、就寝時間としています。夜間の職員は、利用者への身体介護など直接の支援はせず、緊急時の連絡のほか、利用者への必要時の声がけをしています。利用者は自立度が高</li> </ol>	

く、トイレは各居室にあり、入浴も自身で入ることができます。

(稲垣委員)

- ・施設開設前に、町会と港区と確認していた範囲では、夜間、職員が常駐していると理解していました。夜中に事故が起きた場合、町会に優先的に連絡してもらうことになっているはずです。町会として、施設運営に全面的に協力する上で、そこが一番大事に考えていますので、施設では、緊急時のネットワークをどのように作っているのか、事前に開示してもらいたいと思っています。

(橋本会長)

- ・先ほどのガードマンという言葉が適切ではありませんでしたが、宿直職員は、いわゆる民間警備ではなく、当法人の職員を非常勤職員として夜間配置しています。緊急時には、宿直職員からまずは施設長に一報があり、施設長からご連絡することになっています。

(宮本副会長)

- ・港区立障害者グループホーム南青山地域連携推進会議設置要綱に基づき、基本的な緊急連絡網はすでに用意していますが、改めて確認し、町会に共有するようにします。

(稲垣委員)

- ・町会の理想としては、今後、利用者と街で会うこともあるだろうし、どのような入居者が知っておいたほうがよいと思っています。

(宮本副会長)

- ・おっしゃるとおりで、その目的で本日の会議を開き、施設見学も実施しています。施設のことも利用者のことも、町会の方に知ってもらう良い機会と考えています。

(今泉委員)

- ・宿直職員が2名いますが、2名とも福祉の資格者ではないとのことでした。いざ緊急連絡となると大変だと思うので、2名のうちどちらかは資格を持っておいてほしいと思っています。これまで10年間、町会と港区で話し合ってきた中で、施設を運営する上で、どのようなことが起こるか分からないから備えるという話が、これまでの前提としてあったはずです。町会の中に福祉施設が初めてのことなので、安心を得ていきたいと考えています。

(宮本副会長)

- ・この会議の場ですぐに有資格者の配置をお約束することは難しいですが、宿直職員としては、利用者の様子を常に見極められるように質を向上させていく必要があると考えています。また、現在の利用者の障害特性を踏まえると、現行の職員体制は安全であると認識していますが、町会とのこれまでの話合いの経過も踏まえて、町会の方が安心できる体制を考えさせていただきます。

(橋本会長)

- ・現在配置している宿直職員は、当法人内の他施設で夜勤の経験がある者を配置しています。今後、研修を重ねていきます。

(稲垣委員)

- ・防災の点で、火災などの災害が発生した場合にどのような対策をするのかを具体的に確認したいです。港区と町会との協定では、災害発生時、町会は必要な支援はしますが、施設利用者の援助はできないということになっていたはずです。マニュアルやこれまでの実績があれば、見せてください。

(橋本会長)

- ・災害マニュアルは施設で作成しており、必要な連絡体制や職員の役割を記載しています。消防計画も消防署に相談し了解を得ています。また、消火器の設置や、ヘルメットを着用し避難経路確認の練習を利用者含めて実施しました。今後、防災訓練も定期で実施していく予定です。マニュアルは現時点で手元にありませんが、今後お見せするのでご確認いただき、その中で町会からアイデアをもらいながら、見直しもさせていただきたいと思います。

(宮本副会長)

- ・現在グループホームを運営している委員から、これまでを通して、何かご意見はありますか。

(西原委員)

- ・職員の有資格について、資格はもちろんあったほうがよいのですが、最後は職員の人間性や、利用者を自分事に考えられる気持ちが必要と考えます。私のグループホームでも、施設長の私を除く3人の職員は資格を持っていませんが、職員の心構えに加え、日頃の研修や人間関係を大切に、今の職員は、自分が不在でも、運営を任せられる存在になりました。
- ・夜間の職員が毎日いることは、素晴らしいことです。この施設でも、施設長から宿直職員に対して、緊急時の対応や研修も既にされているのではと思います。開設まだ間もない施設ですが、これからも職員研修などを通して、地域の方が安心できるような職員育成ができればよいと思います。そのために、委員の一員として安心につながるような協力はいつでもしていきます。

(大谷内委員)

- ・本日の資料を見ると、この施設の利用者は自立度が高く、また、実際に施設を見学してみると、入退室時にはカードをかざすなどセキュリティ面がしっかりしており、利用者がすぐに離設できる環境ではないことが分かりました。私のグループホームでは、知的障害のある比較的重度の男性利用者5名が生活しており、人通りの多い歩道に隣接する1階にありますが、これまで利用者が離設することはありませんでした。地域の方はご不安に感じるかもしれませんが、どのような障害特性があるのか、今後、地域の方にお示しできればよいと思いました。
- ・防災について、防災マニュアルやBCP（業務継続計画）は、施設運営上必須で作成することとなっています。それらマニュアルや緊急時の連絡網を地域の方にお示しできれば、安心につながるのではないかと思います。また、地域の防災訓練があれば参加することなどを通して、顔を合せながら共助できればより良いと考えます。

(齋藤委員)

- ・私も本日見学して、利用者が勝手に離設することはないこと、また、ガスではなくIHなので、火が出にくい環境であることが分かりました。そのため、地域に迷惑がかかることや、火事が起きるといった想定はしなくても大丈夫ではないかと感じました。
- ・民生委員として、この施設における町会の方の心配や経過は承知していますし、本日の会議を通して町会の方が施設運営を支援し、気に掛けようとしていくことは心強いと感じました。すでに地域行事に積極的に参加しているようですし、今後、地域と施設は、顔と名前が分かる関係が築くことができると思っています。

(利用者代表)

- ・初めて参加しました。クリスマス会が楽しみです。

(橋本会長)

- ・その際はクリスマスの飾りつけをするので、手伝ってもらえたら嬉しいです。

(齋藤委員)

- ・今日、施設見学したら七夕の飾り付けがありました。とても素敵でした。

(村田委員)

- ・私は、先ほどのグループホームを運営しているお二人の話を聞いて、グループホームのイメージを持つことができました。今後、このような意見交換を積み重ねていければよいと思っています。

【閉会】

---

(橋本会長)

- ・本日は様々な意見ありがとうございます。いただいた意見を施設運営に活かすとともに、施設からお示しできる資料についても、今後お示していきます。
- ・次回の地域連携推進会議は、令和7年10月29日(水)を予定しています。よろしくお願いいたします。

【終了】